

1. 評価結果概要表

[認知症対応型共同生活介護用]

平成21年12月17日

【評価実施概要】

事業所番号	0193600129
法人名	社会福祉法人 富門華会
事業所名	安平町認知症高齢者グループホーム「さかえ」
所在地	〒059-1505 勇払郡安平町早来栄町133-65 (電話) 0145-26-2323

評価機関名	社団法人 北海道シルバーサービス振興会		
所在地	〒060-0002 北海道札幌市中央区北2条西7丁目かでの2・7 4階		
訪問調査日	平成21年11月18日	評価確定日	平成21年12月17日

【情報提供票より】 (21年10月31日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 14 年 7 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤	7 人, 非常勤 0 人, 常勤換算 7 人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋	造り
	1階建ての	～ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,000 円			
その他の経費(月額)	光熱水費、燃料費 5000円			
敷金	有(円) <input checked="" type="radio"/> 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) <input checked="" type="radio"/> 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要 (11月18日現在)

利用者人数	9 名	男性	1 名	女性	8 名
要介護1		名	要介護2		1 名
要介護3	5	名	要介護4		3 名
要介護5		名	要支援2		名
年齢	平均 89.2 歳	最低	77 歳	最高	99 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	畑山医院、早来医院、きつかわクリニック、追分菊地病院 日野歯科、早来ファミリー歯科
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当事業所は大変自然豊かな環境の中に母体組織が運営しているケアハウスやデイサービスセンターとともに併設され、土地、建物、備品は安平町所管のもと運営されている。母体組織である社会福祉法人富門華会は、福祉事業において30年以上ものキャリアを持っており、昨年事業指定管理者に受託されている。「ゆったり、のんびり、楽しく」を基本理念としており、併設のケアハウスやデイサービスセンターともに、利用者が地域社会を構成する住民の一つであることを認識し、利用者が地域と共に生活できる地域に根差した事業所を目指している。また、利用者職員は同居人の様に和気藹々の関係を結び、豊富な経験を活かしたケアにより安らぎのある穏やかな生活を送っている。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4) 思いや意向の把握は別の書式を用意して、把握しやすい取り組みに改善されており、介護計画、見直しはモニタリング表を加えて生活介護を行なって、定期的な評価に取り組むことを期待したい。災害対策は地域住民共同の取り組みを期待したい。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 自己評価は管理者が評価したものを、職員が点検しコメントを入れるという新方式で臨み、全員で検討して纏め上げられている。評価を通じての気づきや、質の確保に取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 運営推進会議は年3回開催され、内容は活動実績や活動報告があり、情報公表制度の研修、ボランティアの活用等多岐に渡っているが、2ヶ月に1回定期的な取り組みを期待したい。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 家族の意見、苦情、を運営に反映するためにも、アイデア募集、アンケートなどの機会を捉えた取り組みを期待したい。家族の不安解消には、月1回発行の「さかえだより」による内容の充実を期待したい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 町の夏祭り、うまか祭り、高齢者芸能発表会見学等、地域の人との交流の機会を大切にしている。しかしながら、今年度は栄地区のお祭りが中止になるなどし、近隣の人々との交流が少なかった。次回のお祭り参加や、町内に広報誌を発行したり、地域に事業所を知ってもらうなどの更なる工夫など期待したい。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「ゆっくり、のんびり、楽しく」を、個々の生活のリズムを尊重した支援が行なわれ、町民としての地域のつながりを大切にしたい理念がつけられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	迷った時にはより安全な支援へ、事あるごとに「理念に戻る」を徹底し、理念から外れない支援に取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	町の夏祭り、うまか祭り、高齢者芸能発表会見学など、地域参加を図っている。今年度は栄地区のお祭りが中止になるなど近隣の地域の人々との交流が少なかった。	○	次回のお祭り参加や、町内に広報誌を発行したり、地域に事業所を知ってもらうなどの更なる工夫など期待したい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は評価の意義を理解しており、職員は評価を活かした気づきの機会と捉えた取り組みができている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は年3回行ない、情報公表制度の研修やボランティア活用等、充実した内容であるが、定期的な取り組みを期待したい。	○	運営推進会議は2ヶ月に1回の定期的に取り組み、事業所の実状や行事報告などの情報開示を行い、提案された意見はスタッフ会議で検討し、より良い事業所運営のために反させるよう期待したい。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	町の管理により運営されており連携は勿論のこと、担当者とは、さかえだよりを確実に手渡しすることとしている他、些細な事案も相談をしたり密な連携ができています。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	月1回さかえだよりを発行し、個々人の様子を書くスペースもあり、今月の暮らしぶり、健康状態が報告されている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時や、たよりを通じて、随時家族の思いは聞き取りを行なっている。申立機関は重要事項説明書に明記している。	○	家族の意見などを取り込む方法の工夫や、気づき、要望、アイデアをひろう努力を期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	やむなく離職者が出た場合は、1ヶ月の交代期間を設けて徐々に利用者と職員が馴れ信頼関係が築いていけるようにし、利用者のダメージを最小限に防ぐ配慮をしている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間で1人1回以上研修へ参加するよう研修計画が立てられている。資格取得を支援し、職員一人一人のスキルアップに繋がっている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	施設長は北海道グループホーム連絡会の日胆ブロック理事を努めており、研修、交流と情報交換を行なっている。しかしながら、職員間の相互交流まで至っていない。	○	グループホーム同士の勉強会、相互訪問等の取り組みを期待したい。
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	病院、デイサービス訪問、家族、利用者と相談しながら徐々に慣れていく工夫をしている。ショートステイを申請中である。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	事業所が、生活の場であるとの認識から、職員も家族の一員として馴染みにならぬように配慮しつつ、喜怒哀楽を共にした関係ができています。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常のコミュニケーションを重視し、把握した生活歴やケア場面での気づきをもとに、意向を把握している他、センター方式を取り入れている。また、新たな書式を用いて、思いや意向の把握がしやすいように工夫している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画は適切なアセスメントに基づいて、利用者の意思や希望が取り入れられ、家族の情報提供も活用しながら、生活課題に対応する目標を設定している。	○	計画の策定から計画に沿ったケアの提供、モニタリングの一連の流れが整備されることにより、理念が活かされる更なる利用者本位の介護計画へとつながることを期待したい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	モニタリング表を生活日誌と共にファイルして、気の付いた事を書き込むことの出来る便利な様式となっている。	○	急変時などの変化の有る場合だけでなく、1ヶ月、3ヶ月と定期的な見直しを期待したい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	通院介助、理美容支援、外出支援等の利用者や家族の要望や状況に応じて柔軟に支援を行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医への通院介助、月1度の定期往診などの他、医療面のアドバイスを電話で相談にも応じてもらいながら支援を行なっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	町内に入院施設がないため、重度化や、終末期の対応は家族と話し合いながら行なっている。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	声掛けなどはさりげなく行いプライバシーを損ねない対応を行っている。対応は無いが記録簿の保管場所や保管の仕方、家族の面会簿等の改善に期待したい。	○	面会票は、一人ひとりのプライバシーに配慮し、単票整備を行なうよう期待したい。また、職員以外の目に触れない場所に保管するように期待したい。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	畑仕事、編物、手芸等、又ミニわらじ作りの達人もいての方も居て、個々人のペースに合わせた支援をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の声を聞きながら、1週間の献立を決める。食材は前日届けられるが、限定商品は皆で並んで買物に出かけるなど、準備から下膳までできることを楽しむ支援をしている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	週3回(火木土)決められた時間内のなかではあるが、無理強いすることなく希望の時に入浴できるよう支援を行なっている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	茶碗拭き、テーブル拭き、貼り絵、編み物等趣味のわらじ作りなど一人ひとりの力を活かした支援をしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買物、散歩、テレビの影響か今日は芝桜が見たいとの希望には、近くのノーザンホースパークに出掛けたりと、外にでる支援ができている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	内玄関にセンサーが取り付けられ、鍵をかけないケアが行なわれている。防犯、安全面を考慮して夜間7時30分～翌朝7時まで施錠している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年1回消防立会いのもと実動的な避難訓練と救急救命講習の実施やマニュアルの作成を行っている。また、地域の協力を仰ぎたいと考え、自治会を通じて避難訓練への参加を依頼しているが、実行には至っていない。	○	あらゆる状況を想定した訓練を行うことで、予期せぬ災害に備えることが望まれる。昼夜や季節を問わずの訓練や、地域住民にも参加して頂いての避難訓練が実現されるよう期待したい。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養、水分量の摂取量を記録に残し、食事量や水分量が不足している場合は一人ひとりに合った支援が出来るように配慮を行っている。また、定期的に母体組織の栄養士の指導を受ける支援を行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは広くくつろぎ部分は仕切りが設けられて、其々にテレビが設置されている。利用者の相性等に配慮した造りである。トイレ、浴室も清潔に保たれ、季節を感じながら過ごせる工夫も伺える。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	趣味に関するものや、思い出の家具や調度品、馴染みの物が持ち込まれ本人が安心して過ごせる居室である。		

※  は、重点項目。